

企業理念の実践により 「エネルギーと環境の共生」を目指して 常に新しい技術の開発にチャレンジしながら 持続可能な社会に貢献するグローバルな 電力会社として持続的成長を目指します



取締役社長

北村 雅良

2011年3月の東日本大震災以降、原子力発電所の停止長期化に伴って不透明な電力需給が継続し、エネルギーコストが上昇し続ける中で、わが国の電気事業を取り巻く環境は極めて厳しいものとなっています。

これに加えて、原子力発電所の新規制基準決定、電力システムに関する改革方針の閣議決定、温暖化対策の見直しを含むエネルギー基本計画再構築作業の開始など、政府のエネルギー政策そのものが大きな転換期を迎えています。

このような状況のもと、私たちJ-POWERグループは、「人々が求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念の実践にまい進してまいります。

「人々の求めるエネルギーを不断に提供する」ために私たちJ-POWERグループがなすべきことは、

第一に電力の安定供給に貢献することです。電力需給が逼迫する中で、私たちは全国に所在するJ-POWERグループの水力・石炭火力発電所や基幹送電線等の電力設備の機能を十二分に発揮し、電力事業者としての責務を果たしてまいります。

そのうえで、わが国の中期的な電力供給力確保のため、国内発電事業における供給力の増強に向けて、竹原火力のリプレースをはじめとする石炭火力の新・増設の可能性を追求してまいります。

2012年10月より建設工事を再開した大間原子力発電所につきましては、新たな規制基準に適合させ、地域の皆さまから信頼される安全な発電所として確実に完成・稼働させるべく全力をあげてまいります。

また私たちは、事業を地球規模で、そして長期的な視点で展開することを目指しており、新興諸国が

求める高効率石炭火力等によってグローバルな成長を目指す海外発電事業の推進や、長期的な低炭素化に向けた革新的技術開発への取り組みも、引き続き着実に進めてまいります。

J-POWERグループは、私たちの使命である電力の安定供給を、これまで同様に高い信頼のもとに果たしていくことを通して、日本と世界の持続可能な発展に貢献してまいります。そのため、自らの事業基盤を、技術、人財、財務のすべてにわたって、より強固なものとしてまいります。

J-POWERグループは、企業理念に掲げるミッションの遂行に向けて2013年もチャレンジを続けてまいります。

皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2013年7月